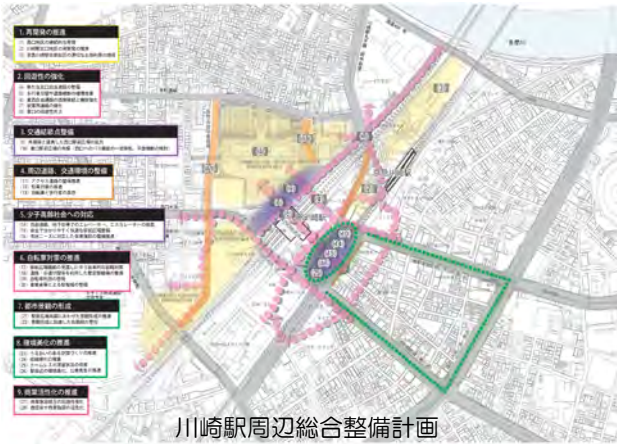


川崎駅周辺総合整備計画及び関連計画



■川崎駅周辺総合整備計画

平成 16 年度から駅周辺における様々な課題へ対応するため具体的な整備内容を定める川崎駅周辺総合整備計画を協議会へ諮りながら検討し、平成 17 年度に策定した。

■川崎駅東口駅前広場社会実験

東口駅前広場においては、駅東口広場前の 6 車線道路で一般車の通行を全面的に遮断し、駅前広場中央部と東口市街地の間を歩行者が地上横断できるよう車道に仮設の歩道を設置して、歩行者の横断を 24 時間可能にする社会実験を行い駅前広場の再編の方向性の位置付けを行った。

■川崎駅東口駅前広場再編計画・基本設計

川崎駅東口駅前広場については、地表駅前広場の再整備、地下街改修の基本計画（平成 18 年度）、基本設計（平成 19 年度）を行い、現況の駅前広場の課題に対して、地下街中央階段上屋を再整備し玄関口にふさわしいシンボリックな空間を創出することや、現在の緑を極力残しながら緑陰を活かした歩行者が憩える広場に設え直すこと、駅から交通施設へ連続しさらにバス乗場全体を覆う上屋により公共交通施設としての利便性・快適性の向上を図ること等の改善策を提案した。